

戦争のない平和な世界に

萩原 弘さん (鶴馬)

私が生まれた日の新聞の切り抜きを見えています。91年前の記事全体が戦争礼賛のイメージばかりで、平和な世界ってどういうものなのか分かりませんでした。

さてそんな戦時色いっぱいの7年後大東亜戦争が始まり、その4年後日本の敗戦で戦争が終わりました。それからの一時期、混乱の世の中で、食糧事情は極度に悪くなり交通機関なども電車の屋根に乗客が乗るようなとんでもないことがありました。

いま、世界では戦争をしている国々



昭和9年1月17日朝刊の切り抜き

ありますが、日本も昔はそういうことをしていたのかなどこの切り抜きを見ると感じます。

これからは戦争のない本当の平和な世界、それがずっとずっと続いて欲しいと思います。

昭和100年にあたり思いました。

米寿を過ぎたころから毎日、短時間ですがウォーキングとラジオ体操的な運動を始めました。また、脳トレを兼ねて趣味にも力を入れています。笑われるかもしれませんが元気で楽しく100歳を迎えられれば、これ以上の幸せはないと思っています。

昭和の思い出

熊井 則子さん (鶴瀬西2)

昭和64年、昭和天皇は崩御された。歴代天皇で最長の在位期間だった。明治、大正時代を足した以上の長い昭和の時代が終わった。

私は70代になった。自分でも驚くがふり返れば子ども時代の思いでは数え切れない。金魚屋の赤い金魚と風鈴の涼しげな音。竿竹屋の伸びる声。夜の縁日は、少し怖くてジブリ作品の世界のよう。傷痕軍人の弾くアコーディオンの音が聞こえると私は下を見て歩いた。米軍がまだ駐留していて、近所の屋敷は接収されてアメリカ軍の将官家族が住んでいた。そこで天蓋付きのベッドをみて私も欲しいと父に頼むと、みかん箱で作ろうと言われガッカリした記憶がある。

子ども時代は本当にたくさん遊び、勉強して大人になり、会社員になって仕事に励んだ。配属先には何故か元軍人で元士官、元士官学校生、特攻隊やインパール作戦の生残りといった人が何人もいた。明治、大正、昭和時代が現役で働いている職場だった。彼らは戦争体験を語ることはなかった。モータリ社員で立派な人たちがだったが、戦争について話してもらいたかった。もうこの世にいないこの人たちを時々思い出している。

昭和100年に想う

今年、昭和元年(1926年)から100年(昭和・平成・令和)を迎えます。昭和は、もっとも長い元号で「人々の平和と社会が繁栄すること」をのぞみ命名され、平成は、「日本のみならず世界中が平和な時代になること」を願い、令和は、「人々が美しく心を寄せ合うことで、文化が生まれ育つ」という元号ごとの願いが込められているそうです。そこでそれぞれの時代を過ごされた皆様に100年を迎えての感想、思い出などを寄稿いただきました。

一人では生きられない、多くの節目を経て

吉田 信一郎さん (関沢2)

生まれたのが開戦の年、物資が手に入りにくい時に、6段の武者飾の前で父との写真がある。今は残っている3段分を飾っている。人生の節目をいろいろやってくれた両親に、私は何をしてあげられたであろうかと思うと、今はただただ感謝しかない。



人生100年の節目の儀礼がたくさんある。自分の立ち位置はどのへんなのか、これからも子どもたち孫たちとのくらしまで関わっていけるのであろうか。主な節目を表にしてみた。

節目の儀礼		結婚記念日	
帯祝い	妊娠5か月目	銀婚式	25年目
誕生	1日目	金婚式	50年目
産湯と産着	3日目	ダイヤモンド婚式	60年目
お七夜	7日目	プラチナ婚式	70年目
お宮参り	31日目	長寿祝	
お食い初め	100日目	還暦(カンレキ)	60歳
桃の節句(女の子)	毎年3月3日	古希(コキ)	70歳
端午の節句(男の子)	毎年5月5日	喜寿(キジュ)	77歳
幼稚園入園	3歳	傘寿(サンジュ)	80歳
七五三(男の子)	3歳・5歳	米寿(ベイジュ)	88歳
(女の子)	3歳・7歳	卒寿(ソツジュ)	90歳
小学校入学	6歳	白寿(ハクジュ)	99歳
中学校入学	12歳	百寿(ヒャクジュ)	100歳(紀寿)
成人	18歳	身内の葬儀	故人の冥福を
厄払い(女性)	33歳	お盆(初盆)	毎年お迎えする
(男性)	42歳	法事(年忌)	49日・一周忌等

「昭和」がこの世に誕生し100年の感想

春日 忻皓さん (関沢2)

昭和という元号が誕生し100年という。そこで私は20年単位の節目を作り節目毎にその記録を追って見た。

まず元号が誕生した昭和元年(1925年)は、大正天皇が12月25日にご崩御されたことから7日間しかなかった。



東京2020オリンピック 聖火リレー

20年後の1945年は、何と言っても昭和天皇の玉音放送だ。この玉音放送はどん底の生活に「激動」の2文字が加わって、食生活一つとってみても粟、ヒエとさつま芋のツルを主食とした時代が到来。

次の20年後は、日本の復興はここにありを誇示した。第1回東京オリンピック(1964年)の開催。日本選手団の日の丸と純白のユニフォーム姿がまぶしく見えた。そして、東洋の魔女と言われたバレーボール選手の活躍は記憶に生々しく残っている。

次の20年後の1985年はバブル景気が誕生し、民営化の一丁目一番地と揶揄されたような郵政業務が数多く株式会社を発足させた。また、青函トンネルが開通したのもこの年であった。

更に20年後の2005年からは、東日本大震災が発生したり、一方で第2回東京オリンピックの開催がささやかれた。

一言で申すならこの100年は「波乱万丈」の100年で、時代の流れの速さと変化、それに国民が持ち合わせているエネルギーが莫大なものであることを思い知らされた100年でもあった。

世界の主な出来事

- 1939年(昭和14) 第二次世界大戦(~1945年まで)
- 1963年(昭和38) アメリカ・ケネディ大統領暗殺される
- 1973年(昭和48) オイルショック
- 1991年(平成 3) ソビエト連邦が崩壊
- 1995年(平成 7) 阪神・淡路大震災発生
- 2001年(平成13) アメリカ同時多発テロ事件発生
- 2002年(平成14) EU域内12カ国、通貨をユーロに統合
- 2003年(平成15) イラク戦争開戦
- 2011年(平成23) 東日本大震災発生
- 2020年(令和 2) 世界中で新型コロナウイルスによる急性呼吸器疾患が大流行
- 2022年(令和 4) ロシアがウクライナへの侵攻開始
- 2024年(令和 6) 能登半島地震発生